

# 耳鼻咽喉科学

責任者：佐藤 宏昭 教授

## 教育成果（アウトカム）：

PBL チュートリアルを行うことで耳鼻咽喉科学疾患における問題抽出、問題解決のステップを実際に経験し、グループ討論の中から患者さんの診断、検査、治療方針の確立にいたるプロセスを習得する。医療チームの一員（クリニカルクラークシップ）となることで、外来、病棟、手術室における耳鼻咽喉科診療の体験を深め、問題解決型学習と対人技能を習得する。

## 行動目標（SBOs）：

1. 外来新患患者について、診断上必要な病歴を問診し、カルテに記載できる。
- \*2. 外来新患患者について、病歴、所見から鑑別診断を挙げ、さらに必要な検査を述べることができる。
3. 耳鼻咽喉科における諸検査の意義、方法を理解し、その結果の説明ができる。
- \*4. 耳鼻咽喉科疾患の単純エックス線写真、CT、MRI 等の読影ができる。
5. 頭頸部腫瘍について、その診断法、検査所見、治療計画を理解し説明できる。
- \*6. 耳鼻咽喉科の手術を見学し、手術の概念、方法について理解し、説明することができる。

## 特に留意すべき注意事項：

1. 月曜日午前中に教授あるいは医局長によるオリエンテーションが行われる。
2. 患者さんの前で「悪性」、「癌」、「AIDS」等、告知の是非が問題となっているような用語は絶対に用いないこと。
3. 診察器具、機械等を教官の許可なしに触れないこと。

## 事前学修時間：

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

## 第5学年臨床実習スケジュール [耳鼻咽喉科学]

### [第1週]

指導医師名：①佐藤宏昭教授 ②志賀清人教授 ③平海晴一准教授 ④桑島秀助教 ⑤齋藤大輔助教 ⑥小田真琴非常勤医師 ⑦片桐克則助教  
⑧大塚尚志助教 ⑨嶋本記里人助教 ⑩川岸和朗助教 ⑪小林有美子非常勤医師 ⑫村井盛子非常勤医師 ⑬水川知子非常勤医師

曜	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限
月	オリエンテーション [場所] [カンファランス室] [指導医] ②④	講義 [カンファランス室] ②④	外来検査実習 [外来] ②⑤⑦⑬	外来検査実習 [外来] ②⑤⑦⑬
火	手術見学と助手 [場所] [手術室] [指導医] ③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	手術見学と助手 [手術室] ③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	総回診 [東 8 階病棟] ①	術前術後検討会 [カンファランス室] ①
水	手術見学と助手 [場所] [手術室] [指導医] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	手術見学と助手 [手術室] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	小児難聴外来見学または手術見学 [外来] ②⑤⑦⑪⑫	小児難聴外来見学または手術見学 [外来] ②⑤⑦⑪⑫
木	新患外来実習 [場所] [外来] [指導医] ③	新患外来実習 [外来] ③	手術見学と助手 [手術室] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	手術見学と助手 [手術室] ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩
金	手術見学と実習 [場所] [手術室] [指導医] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	手術見学と実習 [手術室] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	手術見学と実習 [手術室] ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	実習のまとめ・試問 [カンファランス室] ④

## 授業に使用する機械・器具と使用目的

使用区分	使用機器・器具等の名称	台数	使用目的
実習用機械	純音オーディオメータ	4台	聴力検査実習
実習用機械	自記オーディオメータ	1台	聴力検査実習
実習用機械	インピーダンスオーディオメータ	1台	聴力検査実習
実習用機械	電気味覚検査計	1台	耳鼻咽喉科診察実習
実習用機械	オルファクトメトリー	1セット	耳鼻咽喉科診察実習
実習用機械	音叉	3台	聴力検査実習
実習用機械	耳鼻咽喉科診療ユニット	4台	耳鼻咽喉科診察実習
実習用機械	模型	4台	耳、鼻、咽喉頭の解剖理解のため
実習用機械	ファイリングシステム	2台	耳鼻咽喉科診察実習
診断用機械	耳音響放射測定装置	2台	内耳機能検査
診断用機械	電気眼振計	1台	平衡機能検査
診断用機械	視運動性眼振計	1台	平衡機能検査
診断用機械	誘発電位検査装置	1台	ABR（聴性脳幹反応）検査
診断用機械	誘発反応測定装置一式 （580-NAVPRO）	1台	臨床実習における検査実習
診断用機械	耳鼻咽喉科診療用ユニットセット （ニューピアレス2型）	1台	臨床実習における回診見学
診断用機械	XPS ドリルシステム一式	1台	臨床実習における手術見学
視聴覚用機械	シャウカステン	2台	画像所見の把握と理解
視聴覚用機械	ビデオ	4組	手術他供覧 （上顎腫瘍手術・喉頭腫瘍手術・気管切開手術）
視聴覚用機械	ビデオ装置	1台	代表的疾患の供覧
視聴覚用機械	PVE ビデオプロセッサ（EPM-3500）	1台	臨床実習における局所所見の供覧
視聴覚用機械	PVE ビデオ鼻咽喉スコープ（VNL-1130）	1台	臨床実習における局所所見の供覧
視聴覚用機械	ノートパソコン（LaVie G タイプ C）	1台	教育用 CD の閲覧
視聴覚用機械	赤外線眼振画像 TV 装置（IEM-2）	1台	臨床実習における眼振所見の供覧
視聴覚用機械	VISERA 耳鼻咽喉科内視鏡システム一式 （OTV-S7V.D）	1台	臨床実習における症例供覧
視聴覚用機械	ノートパソコン一式（PC-WA70L）	1台	臨床実習における補聴フィッティングの見学
視聴覚用機械	PC（EndevorNT9500Pro15.4型液晶）	1台	講義用
視聴覚用機械	鼓膜撮影用硬性内視鏡デジタルカメラ一式 （E-330 他）	1台	鼓膜所見の供覧
視聴覚用機械	パソコン一式（Dimension9200）	1台	講義
診断用機械	外来用診療システム（FU-STE）	一式	臨床実習における外来実習
視聴覚用機械	プレゼンテーション用ディスプレイ（TH-65PF10KR）	一式	臨床実習における症例検討
視聴覚用機械	手術画像閲覧編集用機器（SR-DVM700）	一式	〃
実習用機器	パソコン（NEC PC-CV3224JAF）	1台	講義資料の作成

## 成績評価方法

臨床実習評価は以下の項目について 100 点満点で評価する。

1. 受講態度：20 点
2. 実習評価 1（教員による学生評価シート I）：10 点
3. 実習評価 2（教員による学生評価シート II）：20 点
4. 実習初日試験：25 点
5. 国家試験問題形式の口頭試問：25 点